

1 温暖化防止活動推進員養成講座

佐賀県(2006年度)
山形県(2005～2006年度)
富山県(2004～2006年度)
京都府(2003～2005年度)
奈良県(2000～2002年度)
和歌山県(2004年度)
岡山県(2004年度)
山口県(2004年度)
京都府弥栄町(2003年度)
岡山県津山市(2002年度)

2 環境活動リーダー・ 環境教育リーダー養成講座

愛知県長久手町(2006年度)
愛知県碧南市(2004～2006年度)
愛知県田原市(2005～2006年度)
兵庫県明石市(2004年度)
京都市・京エコロジーセンター(2003～2013年度)
京都府弥栄町(2003年度)
福井県武生市(1998～2000年度)ほか

3 環境まちづくりリーダー養成講座

大阪府島本町(2007年度)
愛知県岡崎市(2004年度)
滋賀県大津市(1999年度)ほか

6 その他の連続講座の運営、コーディネート

- ・島本町「住民地域環境調査」全10回コーディネート(2008年度)
- ・滋賀県草津市「環境まちづくり交流会」全4回コーディネート(滋賀事務所1999年度)
- ・京都府長岡京市「エコシティー連続講座」全7回をコーディネート(1999年度)
- ・滋賀県新旭町「住民主役の環境入門講座 環境マイスターをめざせ」をコーディネート(2000年度)
- ・福井県武生市「エコシティー連続講座」(1998,1999,2000年度)
- ・大阪府箕面市市民セミナー地球市民編1,2学期全20回をコーディネート(1997,1998年度)
- ・岐阜県多治見市ワークショップ「地球にやさしい環境講座」全5回コーディネート
- ・大阪府豊中市「ごみ減量・リサイクル連続講座」ワークショップ全5回をコーディネート(1997年度)
- ・京都市「クイズで考えるごみ問題」シリーズ2回を受託(1997年度)
- ・京都市と市民向け連続講座「私たちの生活と地球温暖化」全12回を共催(1997年度)

4 グリーンコンシューマー・リーダー養成講座

敦賀市(2008年度)
島根県(2000～2002年度)
香川県(2000年度)
埼玉県(1999,2000年度)
草加市(1999年度)
大分県(2000年度)ほか

5 組織マネジメント、ネットワークづくり、 テーマ別活動実践手法講座

環境NGO・NPOレベルアップ研修(2011～2012年度)
環境NGO・NPO活動推進・組織運営講座(2011～2012年度)
循環・3R活動推進リーダー養成講座(2009,2012年度)
環境NGO・NPO地域ワークショップ(2009年度)
環境保全に取り組むNPO・NGO運営講座(2009年度)
環境NGO活動発展のための組織運営講座(2007年度～)
環境NGO組織マネジメント講座(2003～2006年度)
環境保全協働コーディネーター養成講座(2003～2006年度)
環境NGOと市民の集い(2003～2005年度、2007年度～)
環境NGO活動実践手法講座(2001～2002年度)
環境NGO活動入門講座(1998～2000年度、2006年度～)
※いずれも独立行政法人環境再生保全機構(旧:環境事業団)より受託

持続可能な社会を創る 環境市民活動リーダー養成講座 のご案内

「主体的な市民がない！」と悩んでいませんか？
まずは本会にご相談ください

「主体的な市民が少ない!」「協働活動の推進役がない」「参加する市民に広がりや生まれにくい」と悩んでいませんか？

地球温暖化防止、ごみ問題の解決、再生可能エネルギーの推進、生物多様性の保全、環境教育の推進、環境のまちづくり、そして持続可能な社会の実現のために必要とされているのは、総合的で明確なビジョンがあり、自ら活動を創り出す力と、行政・住民・事業者を結びつけるコーディネーター力のあるリーダーです。

その知識、技術、力は、日常の活動の中から得られるものもありますが、それだけではなく、それを会得する「機会」が必要です。

環境を大切にしたいまちづくり、環境政策、環境市民活動をより発展させるには、「環境活動リーダー」を養成することが必須であり、それは行政の大切な役割です。

持続可能な地域づくりに 求められるリーダー像

- 1 地域環境活動を主体的に創出できるリーダー
- 2 コーディネート能力や合意形成能力を兼ね備えたリーダー
- 3 持続可能な社会の実現に向け、産業や交通、まちづくりなども含めた総合的な視野を持ったリーダー
- 4 活動の効果を高める「協働」を重視し、その輪を広げられるリーダー

この講座で得られる効果

■知識・技能・姿勢(心構え)の修得で活動の質を高めます

住民参画や、地域の環境活動を活発にし、効果の高いものにするには、行政のがんばりだけでなく、住民側にも活動リーダー層が不可欠です。この講座は、地域環境活動のリーダー層(候補も含む)を対象に、より活動の質を高めるために必要な、知識・技能・姿勢(心構え)の修得を目的にしています。

■この講座で、五つの能力を高めます

- 仲間の能力や経験を活かすコーディネート能力
- 会議やグループ運営で、合意形成を得るための能力
- 生活実感や活動実践経験に基づいて環境情報を読み解く力
- 多くの人から共感を得ることができる企画・提案能力
- 住民だけでなく、事業者や行政との協働の輪を広げることができる力

実践経験が活きる 行動につながる 講座企画・運営における環境市民の強み

環境市民は1992年に設立され、自主的な活動や自治体・事業者とのパートナーシップ活動などをつづけてきた環境NGOです。環境市民は、環境活動リーダー養成講座の企画立案、実施において次の三つの強みを持っています。

1) 豊富な地域活動経験

1992年京都市で発足した環境市民は、エコライフ、ごみ、交通、水、環境教育、まちづくりなど、地域に根ざした活動を実践してきました。そのひとつが全国に先駆けて地域のスーパー、生協の環境対策を調査した「グリーンコンシューマーガイド」の作成・出版です。最近では、京都やその周辺の道を実際に走ってその状況を調査、サイクリングコースを提案した「京都自転車マップ」の発行、京都の里山にある独自の環境学習フィールドを活用した環境学習などの様々な実践活動に、ボランティアを中心に取り組んでいます。

2) 全国的な活動、事業者との協働

グリーンコンシューマー活動を全国に広めてきました。また、96年発足の「グリーン購入ネットワーク(GPN)」には発足時から参画しています。またGPNの地域組織「京都グリーン購入ネットワーク」の立ち上げに中心的な役割を果たし、2004～2013年度7月まで事務局を担いました。

環境のことを考えて買い物をする消費者の選択を誤らせる広告・宣伝(グリーン・ウォッシュ)を規制する仕組みづくりにも取り組んでいます。

2001～2010年度は全国のNGOとともに「日本の環境首都コンテスト」を実施、その成果を活かして複数の自治体・研究者・NGOと協働で「環境首都創造ネットワーク」を発足させるなど、自治体の環境施策向上、地域から日本を変える活動にも取り組んでいます。

事業者との協働にも積極的で、環境キャンペーンの開催、環境教育教材の作成など多くの実績があります。

3) 実践経験がコーディネートに活きる

自治体、企業、市民向けの研修、講演会などを多数開催するほか、各地で環境基本計画、ローカルアジェンダ21の策定コーディネート実績を持っています。

市民や事業者など様々な立場の人が参加する計画策定会議のコーディネーターは、NGOの運営と共通するものが多くあります。コーディネーターにとって最も重要な、委員の理解・信頼を得るノウハウも、実践の中から得てきました。このように、テーマが多岐にわたる環境基本計画、ローカル・アジェンダ21の策定支援には、これまでの実践経験がおおいに活かされています。

これら数多くの実践経験を有しているからこそ、効果的なプログラムの企画立案、そして運営が可能となります。



実施可能なリーダー養成講座例

1

地球温暖化防止活動 リーダー養成講座

自然エネルギーの普及、省資源・省エネルギーなど、地球温暖化を目的としたエコライフを普及するリーダー養成講座です。都道府県などが実施する地球温暖化防止活動推進員養成として最適です。

2

環境教育 リーダー養成講座

地域での環境教育を進めようと考えている方に。活動実践者、環境活動リーダーをめざす人々を対象に、環境に関する知識だけでなく、仲間の集め方、伝え方などの活動手法も持った環境教育リーダーとなるための基礎から実践までを学べます。

3

グリーンコンシューマー リーダー養成講座

グリーンコンシューマー活動を地域で広めるリーダーをめざす人を対象とします。地域版グリーンコンシューマーガイドづくりの実習も盛り込まれます。

4

ごみ減量 リーダー養成講座

ごみは私たちのライフスタイルを反映しています。ごみの減量は、自治体にとっては大きな課題となっていますが、排出量自体の減少はすすんでいません。ごみ減量の考え方や方法をすすめるリーダー養成講座です。

5

環境活動組織運営講座

効果的な環境活動を行うには、個人的な思いだけでは不十分です。組織的に行うことで活動の効果は大きくなります。その際に必要な活動企画方法、仲間集め、広報の方法、資金集め、組織のマネジメント法など、すぐに役立つノウハウが修得できます。

6

パートナーシップ・ コーディネーター養成講座

環境活動は、行政・市民・事業者などがパートナーシップで取り組むことで、大きな力を発揮します。しかし、しっかりとしたビジョンと交渉・合意形成力が求められます。環境活動の効果を高めたいと考える方、いままですり越えられない壁をお感じの方へ最適です。

7

教員向け環境学習研修

教員は学校教育を中心として、子どもに対する環境教育のエキスパートです。しかし多くの教員は多忙かつあふれる情報に翻弄され、それらを読み解く視点をどうしたら身につけることができるのか、といった悩みも持っておられます。情報の読み解き方、伝え方のノウハウなど、オリジナルの教材を用いながら学びます。

8

環境学習施設運営 ボランティア養成研修

「環境学習施設をつくっても、市民が来ない、来ても十分に対応できる人材がいらない」という自治体も多いのではないのでしょうか。環境学習施設の効果を高め、同時に環境活動リーダーも育成する、一石二鳥の講座です。

※以上の他にも、環境問題の入門講座、市民参画の裾野を広げる講座など、様々なニーズにお応えします！

各講座の特長と内容

〈講座の特長〉

各講座は複数回の連続講座として実施します。受講者には、原則として全回出席を求めます(地域の事情などにより、募集方法や条件には工夫が必要です)。各回、環境問題の包括的理解と私たちの暮らしとの関係、各地の環境市民活動の先進事例、企画立案能力、コーディネート能力、プレゼンテーション能力などをテーマに、レクチャーと参加者によるグループ討論で構成します。グループ討論はワークショップ形式で実施します。「答え」が提供されるのではなく、受講者らが自分たちで考え、ベターと思われる方策を見いだします。その際「対等に議論する」「他人の話を聴く」「他人が受け入れやすい表現を心がける」など、建設的な議論運営に必要な要件を体得できる内容にします。

〈講座で学ぶ基本的内容〉

- ① 環境問題の全体像の理解と私たちの暮らしとの関係
- ② さまざまな地域の先進的活動事例(市民活動に展望をもつ)
- ③ コーディネート能力、会議の効率的な運営手法
- ④ 伝えるための手法
- ⑤ 企画立案の手順
- ⑥ 仲間づくりのためのノウハウ

対象層やこれまでの学習内容によって、内容の絞り込みにも対応します。
※上記プログラムに、テーマに応じたオプションを盛り込んでいきます。

- ◇ 対象：地域の環境市民活動リーダー層、またはそれをめざす人
- ◇ 人数：30～40人が望ましい人数です。
- ◇ 時期：ご予算に応じてお見積りさせていただきます。
- ◇ 費用：応相談(講師謝金、コーディネーター謝金、旅費等の直接経費および管理費)
- ◇ 時間：1回あたり3～7時間